

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略

実施状況報告書

(平成 28 年度)

平成 29 年 7 月

川 西 市

目次

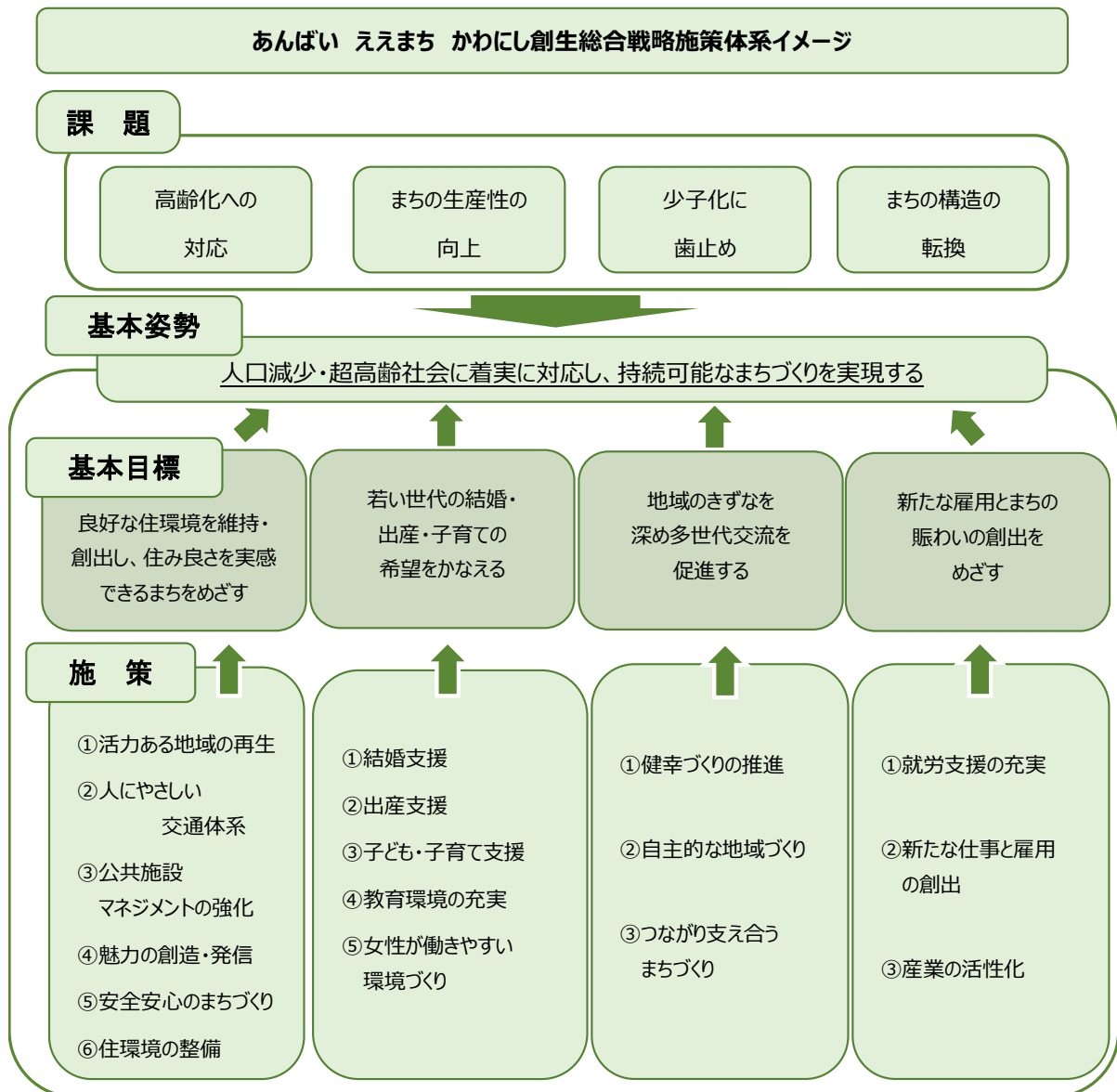
I	はじめに	1
1	「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について	1
2	総合戦略の効果検証について	2
(1)	実施状況報告書作成の趣旨	2
(2)	効果検証の方法	2
II	具体的施策の実施状況	5
1	基本目標1 良好な住環境を維持創出し、住み良さを実感できるまちをめざす	6
①	活力ある地域の再生	7
②	人にやさしい交通体系	8
③	公共施設マネジメントの強化	9
④	魅力の創造・発信	10
⑤	安全安心のまちづくり	12
⑥	住環境の整備	14
2	基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	16
①	結婚支援	17
②	出産支援	18
③	子ども・子育て支援	19
④	教育環境の充実	21
⑤	女性が働きやすい環境づくり	23
3	基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する	24
①	健幸づくりの推進	25
②	自主的な地域づくり	26
③	つながり支え合うまちづくり	27
4	新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす	28
①	就労支援の充実	29
②	新たな仕事と雇用の創出	30
③	産業の活性化	32

I はじめに

1 「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について

国では、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みやすい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが、喫緊の課題であるとして、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的に、「まち・ひと・しごと創生法」を制定、施行しました。

本市では、国の地方創生の動きに呼应し、平成28年3月に、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定し、人口の転入・定住の促進、人口減少の抑制、まちの活性化における安定した地域づくり、安定した雇用の創出といった観点から、それぞれに対応する4つの基本目標を立て、その具体的な施策を展開しているところです。



2 総合戦略の効果検証について

(1) 実施状況報告書作成の趣旨

総合戦略に掲げた施策の着実な推進を図るためには、それぞれの施策の進捗状況について、成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図る必要があります（PDCAサイクルの構築）。

そこで、平成28年度の実績に係る進捗状況を明らかにするとともに、取り組みに対する効果検証を行った結果を取りまとめ、幅広く市民の皆さんと情報共有するため、実施状況報告書を作成しました。

(2) 効果検証の方法

総合戦略では、施策の達成度を可視化することを目的として、基本目標単位で数値目標及び幸せ実感指標を、各施策単位でKPI（重要業績評価指標）を設定しています。目標値に対する平成27年度及び平成28年度における実績値を明記することで、達成状況を確認できるものとしています。

また、個々の施策単位で平成28年度の実績と成果及び課題と今後の方向性を明示し、指標の達成状況を含め、産官学金労言の有識者で構成するあんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議の総合的かつ客観的な見地からの意見を聴取し、効果検証を行うとともに、施策を進めるうえでの課題などについてのコメントを求めています。

凡 例

基本目標に掲げる内容のめざすべき方向性を記載しています。

基本目標2		若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
<p><基本的方向性> 出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目のないきめ細やかな支援を行うことで、自然動態における人口減少に歯止めをかけることをめざします。</p>						
あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議						
コメント	推進会議における委員のコメントを箇条書きで記載。					
数値目標						
	指標	方向性	現状値 (H26)	目標値 (H31)	実績値	
					H27	H28
数値目標	「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合 (市民実感調査より)	↗	51.5%	67.0%	52.6%	49.6%
	市内出生数(住民基本台帳登録者数)	→	1,172人	1,000人	1,086人	1,048人
幸せ実感指標	子育てに喜びや生きがいを感じている市民の割合	↗	89.2%	95.0%	89.2%	91.6%

平成 28 年度の実績と成果及び課題と今後の方向性、さらに指標の達成状況を踏まえた、総合戦略推進会議による効果検証のもと、施策を進めるうえでの課題などについてのコメントを記載しています。

実績値は、平成29年4月末時点で把握できている数値を記載しています。
 数値が未把握の場合は、「-」としています。

基本目標を達成するために必要な施策とその施策の具体的な展開について記載しています。

具体的な施策の取組状況					
施策 1	結婚支援				
	<具体的な施策の展開> ・出会いや結婚を支援するなど、結婚しやすい環境づくりを進めます。				
【平成28年度の主な取組内容及び成果】					
<具体的な施策の展開>にある記述の内、H28年度に取り組んだ内容を箇条書きで記載。					
○結婚新生活支援助成制度を創設し、若い新婚世帯の結婚新生活を支援(実績:29件)					
○若者同士の出会いの場づくりを支援するため、婚活イベントへの後援名義使用の許可					
KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
20～29歳男女の未婚率	↓	男性： 83.8%	男性： 83.0%	-	-
		女性： 78.7% (H22)	女性： 78.0% (H32)		
【今後の課題及び方向性】					
【平成28年度の主な取組内容及び成果】の内容を受け、施策の今後の課題・方向性を総括として、記載。					
○制度の周知が必要					
➡結婚式場相談窓口におけるPRや不動産関係事業者との連携による幅広い周知の実					

具体的な施策の展開に向けて、平成28年度に取り組んだ内容及び成果を記載しています。

具体的な施策の展開にあたって、今後求められる課題と方向性を記載しています。

実績値は、平成29年4月末時点で把握できている数値を記載しています。数値が未把握の場合は、「-」としています。

II 具体的施策の実施状況

総合戦略に基づく、4つの基本目標における個々の施策単位での取組みと成果及び課題と今後の方向性をとりまとめ、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議のコメントを添えて、総合戦略の平成28年度の実施状況として、次頁以降のとおり報告します。

なお、総合戦略全体に共通する事項での推進会議のコメントについては、次に示すとおりです。

全体共通事項

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議	
コメント	<ul style="list-style-type: none">➤ 各基本目標及び施策ごとに設定されている KPI 等について、現状値に対して実績値が著しく下がっているものがあるが、しっかりと傾向に対する分析評価を行ったうえで、今後の施策展開に活かしていく必要がある。➤ 総合戦略に基づく施策展開により人口減少に歯止めをかけていくためには、県を含め、広域連携を図りながら取り組んでいくことが重要である。

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

<基本的方向性>

恵まれた都市環境と自然環境を内外にアピールし、市外からの転入の呼び込み、市内在住者の定住の促進（流出抑制）を図ります。

あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント

- 基本目標1の各施策がKPIの達成にどのように貢献しているのかを分析し、具体的な成果が期待できる施策としていく必要がある。
- 魅力の創造・発信施策については、事業の取組実績やKPIの実績値を単純評価するのではなく、事業実施による効果が見えるよう細分化されたデータ分析を工夫し、効果の検証を行う必要がある。
- 魅力の創造・発信の施策におけるシティプロモーションについては、素晴らしい住環境に加え、日本一の里山と称され、世界に誇れる里山があるまちである市の魅力をしっかりと踏まえたシティプロモーションの展開が必要である。

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
数値目標	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	76.3%	80.0%	73.6%	74.6%
	社会移動数転入・転出の均衡	48人(H25)	均衡状態	△120人	△53人
幸せ実感指標	「住み良いまちだ」と思う市民の割合	85.2%(H27)	86.0%	85.2%	83.4%

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施 策 1	<p>活力ある地域の再生</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①(仮称)ふるさと団地再生計画の策定を通して、多世代交流やコミュニティの活性化を図るとともに、住み替え等による住宅の流動化、若年世帯の流入促進を推進します。</p> <p>②親元近居助成制度を含め、新たな子育て世帯の転入・定住促進支援に向けた取組みを推進します。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○3団地モデルプロジェクトの取組みから得た団地再生の課題解決に向けた「ふるさと団地の再生の手引き」を作成。3団地以外の地域への周知を実施

<具体的施策の展開②>

○転入・定住促進を図るため、H25年度から実施している親元近居助成制度を継続実施(助成件数:104件(内訳:市内57件、市外47件))

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
生産年齢人口比率	→	58.5%	57.1%(H32)	57.3%	57.1%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○団地再生に向けた地域の主体的かつ持続可能な取組みの実施
 →団地再生に取り組む地域への行政支援のあり方についての検討

○住み替え等による住宅の流動化を図る仕組みの構築
 →空家、空地の流通促進に向けた方策の検討

<具体的施策の展開②>

○新たな子育て世帯の転入・定住促進に係る住宅施策の構築
 →子育て世帯を中心とした転入・定住を誘導する住宅施策の検討

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施 策 2	<p>人にやさしい交通体系</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①高齢者や子育て世帯などが気軽に移動できるよう、基幹公共交通の充実のほか、地域内公共交通の確立、高齢者への公共交通利用促進支援などに取り組みます。</p> <p>②移動手段としても有効で、かつ健康増進にもつながる自転車の利活用を促進する取組みを推進します。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○環境に配慮した交通行動の推進を目的として、市内小学校でMM教育を実施(16校、延べ30回開催)

○地域内公共交通実施計画策定に向けた検討のため、コミュニティにおいて説明会を開催(2コミュニティ)

<具体的施策の展開②>

○自転車を活用したまちづくりに向けて、市内及び阪神北圏域で検討を行い、交通安全や観光、にぎわいの創出といった視点での活用について検討

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合	↑	52.0%	55.0%	59.3%	52.4%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○公共交通によるまちづくりの推進に向けた市民等への交通まちづくり学習の充実

→市内小学校でのMM教育の継続的实施

○地域内公共交通の確立に向けた各地域における実施計画策定に係る取組みの深化

→地域の実施計画策定に向けた検討等の各地域への働きかけの実施

<具体的施策の展開②>

○自転車通行における安全性・快適性の確保に向けた取組み

→自転車ネットワーク計画の策定に向けて検討の実施

○自転車を活用した観光まちづくりの具体化に向けた取組み

→阪神県民局と連携を図りながら、サイクルマップの作成やイベントの開催等の実施

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施 策 3	<p>公共施設マネジメントの強化</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の現状及び将来見通しを把握した上で、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、公共施設の最適な配置をめざし、良好な住環境の整備を推進します。
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

○平成28年11月に「川西市公共施設等総合管理計画」を策定

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
公共施設の延べ床面積	↓	375,977㎡ (H25)	298,316㎡ (H67)	372,896㎡	-

【今後の課題及び方向性】

○総合管理計画を踏まえた個別施設ごとの詳細な取組方針等の決定

- ➡施設ごとの詳細な取組方針と今後のスケジュール等を示す「(仮称)川西市個別施設計画」の策定

具体的な施策の取組状況

施 策 4	<p>魅力の創造・発信</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①加茂遺跡、清和源氏の発祥の地、日本一の里山など様々な地域資源・観光資源を活用し、交流人口の増加を図ります。</p> <p>②あんばい ええまち かわにしプロジェクトの推進によるシティプロモーション(市の魅力を積極的に発信する取組)を展開し、本市の魅力の認知度の向上を図ります。</p> <p>③新たな交通の玄関口となる新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジを活用し、新たな市の魅力の創造・発信への展開を図ります。</p>
-------	--

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○黒川ダリヤ園の拡大のため測量を実施

○清和源氏発祥の地川西をPRするため、源氏まつりを開催(観客数:約4万人)

○北摂観光キャンペーンやきらっと☆阪神北オータムフェスタなど、各種イベントにおいて観光や特産品のPR活動を実施

○黒川地区等のさくらマップ「春里」を発行(発行部数:30,000部)したほか、黒川観光まちづくりについて、大学と地域が連携した取組みを展開

○「のせでんアートライン妙見の森」の29年度の開催に向けて、地域住民などが交流・意見交換する「アートラインカフェ」を実施(開催回数2回、参加者80名)

○「川西まちなか美術館」の開催支援(観覧者数:約16,000人)

<具体的施策の展開②>

○住宅・結婚・観光関連サイトなどを活用したPRを実施(PRバナークリック数:8,938回)

○大阪中心部でシネアドやデジタルサイネージを活用した市のPRの展開(動画再生回数:約7,800回)

○市民参加型フェイスブックによる情報発信を行うとともに、登録者を対象に交流会を開催(登録者数:173人)

○観光デジタルガイドブック「かわにしさんぽ」の内容検討

<具体的施策の展開③>

○魅力創造発信拠点の整備に向け、民間事業者へのヒアリング等を実施し、事業の参入の可能性を調査

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
観光客入込数	↑	2,092千人	2,353千人	2,203千人	2,249千人
市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数	↑	20,208件	100,000件	147,538件	135,413件

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

○様々な地域資源、観光資源を活用した観光まちづくりの具体的推進

- ➡黒川地区の古民家の有効活用や黒川ダリヤ園、知明湖キャンプ場を含めた里山を活かした観光プロモーションの展開、里山センターの整備に向けた準備

○まちの賑わいの創出に向けたイベント等への支援の充実

- ➡のせでんアートラインやまちなか美術館などのイベントとの連動による効果的なシティプロモーションの展開

＜具体的施策の展開②＞

○本市の魅力の認知度の向上に加え、交流・定住人口の増加につなげるシティプロモーションの深化

- ➡あらゆる場面で選ばれる都市となるため、SNS(インスタグラムなど)といった多様なチャネルを用いたシティプロモーションの展開

＜具体的施策の展開③＞

○まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整

- ➡所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討

具体的な施策の取組状況

施 策 5	<p>安全安心のまちづくり</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①高齢者、障がい者、要介護者など、全ての市民が安全で安心に暮らせるまちづくりを推進します。</p> <p>②防災行政無線及び防災機能を備えた公園施設等の整備、耐震改修への助成、消防力の強化などを通じて、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>③防犯カメラの設置により防犯力の強化を図るなど、生活安全の充実を推進します。</p> <p>④防災・防犯の啓発を積極的に展開するとともに、地域における防災・防犯への取組みを支援し、安全・安心のまちづくりを推進します。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

- ケアマネジャー等専門職の相談施設である在宅医療・介護連携支援センターの開設についての検討
- 各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員の配置を検討
- 福祉避難所として新たに9か所との協定を締結

<具体的施策の展開②>

- 防災行政無線の運用を開始し、毎月の試験放送と国のシステムと連動した訓練放送を実施
- 迅速な避難行動に繋げるため、防災行政無線の音達状況などの調査実施
- 住宅の耐震化の促進に向け、耐震改修促進補助制度の拡充とともに、事業の推進啓発の実施（建替工事、耐震シェルター等の補助制度の創設、耐震市民フォーラム等の実施）
- 防災機能を備えた公園施設の整備を実施（5公園）
- 救急需要増加への対応のため、救急隊の増隊に向けて、救急車の新規購入及び配置庁舎の改修を実施

<具体的施策の展開③>

- 子どもの安全確保及び犯罪の未然防止を図るため、各小学校区の通学路等に防犯カメラを設置（設置台数：各小学校区10台ずつ、合計160台）

<具体的施策の展開④>

- 市民の防災意識の高揚等のため、防災に関する出前講座への講師派遣や防災訓練の指導などを実施（派遣等回数：56回）
- 各地域における生活安全上の課題について協議する場として、生活安全推進連絡協議会を開催し、地域や関係団体と行政の連携体制の強化
- 防犯カメラ設置事業補助金の交付などにより、地域の安全確保に向けた取組みの支援を実施（補助金交付件数：7件）

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
「災害に強いまちだ」と思う市民の割合	↗	25.3%	32.0%	25.6%	22.6%
地震や火災などの災害に対する備えができて いる市民の割合	↗	34.0%	47.0%	32.1%	29.8%
人口一人あたりの犯罪発生率	↘	0.89%	0.85%	0.82%	0.87%

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

○高齢者が安心して住み慣れた街に暮らせるよう、在宅医療・介護連携支援センターの利用促進を展開

- ➡利用対象である、ケアマネジャー等専門職に対して、勉強会等で在宅医療・介護連携支援センターの活用方法を周知

○全地域において災害時に備えた避難行動要支援者の個別支援計画の作成

- ➡地域の支援者との一体的な個別支援計画の作成

＜具体的施策の展開②＞

○災害に強いまちづくりの推進に向けた体制の強化

- ➡速やかに避難行動に移れるよう防災行政無線の音達状況の改善とともに、情報伝達手段の多重化を推進
- ➡防災機能を備えた公園の整備の促進
- ➡耐震改修促進補助事業の拡充や市民への啓発の継続的实施
- ➡交通網の整備や住環境の変化に対する消防環境の充実に向けた検討

＜具体的施策の展開③＞

○防犯カメラの適切な管理運用と設置効果の検証

- ➡「防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱」に基づく適切な管理運用及び設置効果検証の実施

＜具体的施策の展開④＞

○地域における防災・防犯に対する意識の高揚及び取組みの充実

- ➡出前講座や防災訓練等、自主防災組織の活性化への支援
- ➡家具固定や食料の備蓄等家庭における備えの啓発の実施
- ➡生活安全推進連絡協議会における情報交換や防犯カメラ設置事業補助金の交付の継続
- ➡地域の自主的な防犯活動に対する支援の継続により、「地域の安全は地域で守る」という意識の醸成

具体的な施策の取組状況

施 策 6	<p>住環境の整備</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <p>①道路、交通安全施設、公園、上下水道の環境整備など、安全安心で、かつ良好な住環境に向けた取組みを推進します。</p> <p>②ごみの減量化や資源化の推進を図るなど、環境の保全や快適な生活空間の創出への取組みを推進します。</p> <p>③低炭素のまちづくりを推進し、良好な住環境の創出によるまちの魅力の創造に取り組みます。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

＜具体的施策の展開①＞

- 橋りょうの長寿命化に沿った修繕工事の実施（2橋）
- 橋りょうの長寿命化計画の基礎となる道路橋定期点検を実施
- 新規に設置する街路灯に関してLEDの設置を実施（153基）
- 公園において遊具やフェンスの改良・更新、手すりの新設を実施（16公園）
- 歩行者等の安全性の向上を図るため、歩道の段差を無くす歩道切下げ工事等を実施（6箇所）
- 床下浸水や道路冠水のリスクの軽減を図るため、側溝整備により排水不良等を解消（L=93m）
- 交通の円滑化及び歩行者等の安全性の向上を図るため、都市計画道路の整備を促進（L=37m）
- 地震等の災害に備えるため、配水池の耐震調査を実施するとともに、基幹管路及び基幹施設の耐震化工事を実施（調査4池、管路L=199.67m、施設1池）
- 鉛給水管改良工事を計画的に実施（1,109件）
- 快適で衛生的な生活環境を図るために、下水道の管渠整備を実施（4地区 L=1,073m）
- 雨水浸水防除及び公共用水域の水質保全のため、管渠整備や雨水ポンプ場の安定的な運転管理を維持するためにエンジン等の設備の更新を実施
- 家庭向けに雨水貯留タンクの設置助成の助成枠を拡充し、実施（助成件数：38件）

＜具体的施策の展開②＞

- ごみ減量化にかかる啓発を図るため、
 - ・出前講座や学習会の開催（開催回数：29回 参加者数：1,926人）
 - ・啓発パネル展示会を開催（開催期間：29日間）
 - ・啓発紙の発行（年2回発行）

○環境基本計画を改定し、実践的かつ効果的に取組みを進めるため「環境に関する配慮指針」を設定

＜具体的施策の展開③＞

○「低炭素まちづくり計画」に基づく建築物の低炭素化への誘導について、自主的かつ意欲的な取組みを行った事業者に対する評価と表彰（3件）

○低炭素化の達成状況について、実績を評価するため、エネルギーモニタリングを実施し、誘導により一次エネルギー消費量の16%の削減を達成

○小学生が主役のイベント「キッズ『り・ぼ・ん』」において、こどもたちによる「COOL CHICE（クールチョイス：日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動）」宣言を実施

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合	↗	58.2%	71.2%	57.9%	59.1%
公園を満足して利用している市民の割合	↗	10.9%	21.0%	14.3%	13.1%
環境に配慮した行動を心がけている市民の割合	↗	91.0%	92.0%	88.7%	88.2%
ごみ収集・処分に対する満足度	↗	87.8%	90.0%	80.6%	69.8%

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

- 安全安心、かつ良好な住環境に向けた計画的・継続的な取組みの実施
 - ➡道路橋定期点検の結果に基づく長寿命化計画の見直しの実施
 - ➡長寿命化計画に基づく公園遊具の改良・更新の継続的实施
 - ➡計画的な歩道切下げ工事の実施
 - ➡水道事業による安心安全な水の供給、下水道事業による公衆衛生の向上に向けた取組みの継続

＜具体的施策の展開②＞

- ごみ減量化や環境保全に関する意識のさらなる醸成
 - ➡啓発事業や市民、団体等の活動状況など広く市民への周知に向けた広報活動の展開

＜具体的施策の展開③＞

- 低炭素のまちづくりの啓発活動
 - ➡事業者の協力を得るため、低炭素化への取組みを広く周知
- 自然環境との調和による良好な住環境の維持・創出
 - ➡「環境基本計画」及び「生物多様性ふるさと川西戦略」の一体的かつ実践的な推進

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<基本的方向性>

出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目のないきめ細やかな支援を行うことで、自然動態における人口減少に歯止めをかけることをめざします。

あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント

- 子ども・子育て支援や教育環境の充実は、総合戦略、市の活性化には重要な施策である中、子ども・子育て支援に係るKPIについては高い目標値を掲げており、目標値を達成すべくしっかりと子ども・子育て支援に取り組んでほしい。
- 「学校に行くことが楽しいと思う子どもの割合」が非常に高いものがあることを活かし、子育て支援を充実し、市民の満足度を上げることで、定住人口の流出抑制につなげてほしい。
- 教育環境の整備充実については、厳しい評価がある中で、限られた資源の選択と集中により、効果的な施策を展開していく必要がある。
- 特にICTの活用は、教育環境の整備にとって重要な要素であり、満足いく教育環境の整備に向けて、積極的に推進していく必要がある。

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
数値目標	「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合	51.5%	67.0%	52.6%	49.6%
	市内出生数（住民基本台帳登録者数）	1,172人	1,000人	1,086人	1,048人
幸せ実感指標	子育てに喜びや生きがいを感じている市民の割合	89.2% (H27)	95.0%	89.2%	91.6%

具体的な施策の取組状況

施 策 1	<p>結婚支援</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会いや結婚を支援するなど、結婚しやすい環境づくりを進めます。
-------	--

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

- 結婚新生活支援助成制度を創設し、若い新婚世帯の結婚新生活を支援(助成件数:27件)
- 若者同士の出会いの場づくりを支援するため、婚活イベントへの後援名義使用の許可や広報誌へのイベント募集記事掲載(後援名義1件、イベント掲載:2件)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
20～29歳男女の未婚率	↓	男性： 83.8% 女性： 78.7% (H22)	男性： 83.0% 女性： 78.0% (H32)	-	-

【今後の課題及び方向性】

- 制度の周知
 - ➡結婚式場相談窓口におけるPRや不動産関係事業者との連携による幅広い周知の実施
- 情報提供の充実
 - ➡地域での婚活イベント情報の提供やひょうご出会いサポートセンターとのリンクなど、WEBを活用した情報の発信

具体的な施策の取組状況

施 策 2	<p>出産支援</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時に保健師等が面談を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる継続的な支援を充実させることで、妊娠及び出産後の母子の不安を解消し、心身の健康を寄り添いながら支援します。
-------	--

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

- 母子健康手帳・妊婦健診申請時保健師が面接を実施し、不安や心配に寄り添い必要な方には支援を継続（母子健康手帳交付:1,068件、妊婦健診費助成者数:1,155件）
- 計画的な子育て意識の醸成のため、きんたくんエンゼル積立支援を実施（申請件数:570件）
- 子育てに関する情報提供や養育環境の把握のため、こんにちは赤ちゃん訪問を実施（訪問件数:921件）

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合	↗	74.0%	80.0%	78.0%	86.1%
妊娠健康診査助成者数	→	1,248人	1,100人	1,182人	1,155人

【今後の課題及び方向性】

- 妊娠及び出産後の母子の不安や心配に寄り添う必要な支援の安定的・継続的な実施
 - ➡妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をめざし、関係機関との連携を強化
 - ➡制度の周知による申請率、訪問率の向上

具体的な施策の取組状況

施策 3	<p>子ども・子育て支援</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①子育て用品購入助成制度の創設や小学3年生までの通院医療費の無料化などにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>②病後児保育を実施し、保護者の仕事と子育ての両立を支援するなど、就学前教育、保育環境の充実を図ります。あわせて、病児保育の実施を検討します。</p> <p>③子育てに係る情報提供や相談のワンストップ化を図るなど、子育てしやすい環境の整備を図ります。</p>
------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

- 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、通院医療費は小学3年生まで、入院費は中学3年生まで無料を実施
- 市の事業で使用していた幼児2人同乗用自転車75台を希望する市内子育て家庭へ譲渡
- 年収約360万円未満の多子世帯、ひとり親世帯等の保育料軽減を拡充
- 不育症治療にかかる保険適用外の治療費の一部を助成(申請数:1件)

<具体的施策の展開②>

- 施設周知のため、おひさまルームの施設のPRをかわにし子育てフェスティバルにて実施し、多くの登録者を確保(登録数:124人、利用数:184人)
- 保育施設が未整備であった中学校区への民間認定こども園の新設整備や、認可外保育所の小規模保育施設への移行などにより、就学前教育・保育の提供体制を充実(保育定員増119人)

<具体的施策の展開③>

- 川西市公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の更新を実施(11公園で14基)
- 子育て世代包括支援センターの設立に向けた連携会議を開催し、懸案事項を整理
- 市内7か所で地域子育て支援拠点を開設し、親子交流の機会や子育て情報の提供等を実施(延来所者数61,804人)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
「子育て支援が充実している」と思う市民の割合	↗	29.7%	50.0%	33.6%	28.0%
保育所の入所待機児童数	↘	31人	0人	58人	32人

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

- 妊娠を望む人や子育て世帯の経済的負担に対する的確なニーズ把握及び効果的施策の選択
 - ➡県の助成制度を基準に、近隣各市の助成状況等を参考に助成制度のあり方を検討

＜具体的施策の展開②＞

- 病児保育事業の対象拡大に対する要望への対応の検討
 - ➡病気やけがの回復期のみならず、回復期に至らない児童までの受け入れに対する検討

○増加する保育ニーズへの対応

- ➡保育施設の新設等による対応方策を検討

＜具体的施策の展開③＞

○子育てしやすい環境(施設)のさらなる充実

- ➡地元のニーズを反映させた、幅広い世代が憩える公園の整備の推進

○子育てしやすい環境(支援制度・体制)のさらなる充実

- ➡切れ目のない子育て支援の実現に向け、子育て世代包括支援センターの開設準備及び関係機関との連携

具体的な施策の取組状況

施 策 4	<p>教育環境の充実</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きんたくん学びの道場」、「里山体験学習」、ICTを活用した授業の実施など、川西の特徴を活かした学習環境の整備を図り、学校教育の充実を進めます。
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

- 中学校給食の実施に向けて、自校調理方式による年次的・段階的な導入計画から、全校一斉導入が可能なセンター方式による実施について検討
- 市内全小学校4年生が、黒川地区において里山体験学習を実施(参加者数:1,367人)
- 家庭学習の習慣化を図るため、全小学校に学習支援員を配置し、「きんたくん学びの道場」を実施(参加者数:延べ538人)
- 授業でのICT活用の促進を図るため、教職員研修を実施(市内全24校で実施。受講者数:約600人)
- 子どもの人権オンブズパーソン事務局において、子どもをめぐる人権問題に対する相談・調査及び広報啓発の実施(年間相談・調整回数:806回)
- 市立小中学校及び幼稚園等の空調設備について、PFI手法により高質化とコスト削減を両立した事業提案を選択
- スクールソーシャルワーカーを配置し、各学校の不登校児童生徒や問題行動等の課題を抱える児童生徒に関する関係機関等からの情報収集や生活面での支援の実施(対象小中校8校、支援児童生徒28人、学校訪問144回、家庭訪問等59回、ケース会議等35回)
- 学校図書館の実態調査を行い、図書購入等のほか書架の購入を実施し、学校図書整備を推進
- 平成25年度から、全小中学校に配置された学校司書と教員が連携し、学校図書館を学校教育活動全体を通じて活用できるよう環境を整備

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合	↑	小学生： 84.0% 中学生： 80.0% (H25)	小学生： 85.0% 中学生： 80.0%	小学生： 85.0% 中学生： 85.0%	-
満足いく教育を受けられる環境が整っていると感じる市民の割合	↑	74.8% (H27)	80.0%	74.8%	58.0%

【今後の課題及び方向性】

○本市の特色を生かした授業の実施や相談体制の構築による学校教育の環境の充実

- ➡スクールソーシャルワーカーの配置の拡大
- ➡中学校給食の実施に向けた検討
- ➡特色ある里山体験学習の継続実施に向けた人材育成

○学校施設等の充実による学校教育の環境の充実

- ➡空調整備や学校図書館の整備の推進・充実

具体的な施策の取組状況

施 策 5	<p>女性が働きやすい環境づくり</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①子育て中の女性が、仕事と育児の両立ができる環境をつくるため、病児・病後児保育の実施や家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。</p> <p>②女性の生き方や働き方などを体系的に学ぶ機会を提供する(仮称)男女共同参画カレッジなど、女性の新たなライフスタイルの確立を支援します。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

- 女性の多様な働き方を支援するため、
 - ・市HPに在宅就業の専用ページをオープン(アクセス数:976回)
 - ・クラウドソーシング活用講演会の実施(参加者数:188名)
 - ・記事などの書き方を学ぶライティングセミナーの実施(参加者数:19名)

○ファミリーサポートセンター事業を川西市社会福祉協議会に委託し、実施(会員数:1,049人)

○親が就労等で昼間家庭にいない児童に対して、留守家庭児童育成クラブで放課後の生活の場を提供

○放課後子ども教室を全16小学校区で実施し、放課後の児童の居場所を提供

<具体的施策の展開②>

○女性の新たなライフスタイルの確立を支援するため、男女共同参画カレッジを開催(延べ参加者数:148人)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
女性の就業率	↑	36.8% (H22)	38.0% (H32)	38.7%	-
川西市役所における女性職員の割合	↑	36.6%	40.0%	37.9%	39.4%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○女性への新たな仕事への提供に向けてクラウドソーシング活用講演会の定員を超える希望者への対応
 ➡クラウドソーシングによる働き方の提供の拡大に向けて、事業の進め方の再検討の実施

○仕事と育児の両立ができる環境の確保

- ➡ファミリーサポートセンター事業の積極的PRによる会員数の確保
- ➡公立・民間の留守家庭児童育成クラブを増設・新設し、待機児童の解消

<具体的施策の展開②>

○女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な支援

- ➡男女共同参画カレッジの開催による女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な取組みの実施

基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する

<基本的方向性>

地域のきずなを深め、多世代交流を促進し、人口が減少する中でも、安定した活気ある地域づくりを展開します。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント

- 本来、自治会は、コミュニティを支える重要な担い手であるが、自治会活動の担い手不足などを背景に、機能が弱ってきているため、コミュニティの機能の強化とあわせ、自治会の強化に向けた方策を市として考えていく必要がある。
- 認知症予防やシニア、子どもの居場所づくりの観点から、使わなくなった公共施設や空き家の活用を促し、地域の方々によるカフェの運営といった自主的な居場所づくりの活動を支援していくことも重要である。

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	
数値目標	自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合	↗	38.0%	41.0%	39.2%	37.1%
	ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合	↗	13.6%	23.0%	12.1%	10.5%
	自分が健康だと思っている65歳以上の市民の割合	↗	72.4%(H27)	83.0%	72.4%	68.0%
幸せ実感指標	地域の人と交流することで充実感を感じる市民の割合	↗	52.3%(H27)	57.0%	52.3%	57.0%

具体的な施策の取組状況

施 策 1	<p>健幸づくりの推進</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸マイレージ制度の充実など、老若男女問わず、日頃から自身の健康を意識しつつ、幸せを実感できる健幸まちづくりに向けた取組みを展開します。
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

- 「健幸」で活力ある社会の実現に寄与するため、健幸まちづくり条例を施行(28年10月)
- 健幸マイレージの参加者を新規に700人募集し、計1,400人で実施(応募者数:907人)
- Let'sきんたくん健幸体操を総合体育館及び各公民館で実施(参加者数:28回1,074人)
- きんたくん健幸体操の普及啓発の推進に向けて、きんたくん健幸体操リーダーを地域等へ派遣(派遣回数:24回)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	↗	70.4%	83.0%	71.4%	69.9%

【今後の課題及び方向性】

- 健幸まちづくりを進めるため、市民一人ひとりの健康意識に対する高揚啓発
 - ➡健幸まちづくり条例の周知
 - ➡健幸マイレージの継続実施とともに、きんたくん健幸体操の普及、地域と協働での出前健幸測定会の実施など、市民一人ひとりの健康づくりの取組みを支援

具体的な施策の取組状況

施 策 2	<p>自主的な地域づくり</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域分権制度に基づくまちづくりを進め、コミュニティを中心とした地域づくり活動を積極的に支援します。
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

- 13のコミュニティ組織に対して、自主的・主体的に取り組まれる地域活動に対する支援として、地域づくり一括交付金を交付
- コミュニティ組織が地域の大きな課題の解決にチャレンジする先駆的な事業に対し一括交付金を加算(交付金加算件数:6件)
- 地域課題解決をサポートするため、地域担当職員・地域づくりアドバイザーによる支援を実施(支援実績:5地域、38件)
- コミュニティ組織が活動の拠点としている施設や公民館内のコミュニティ室の改築や修繕等の支援を実施(支援件数:4件)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
地域分権制度適用地域の主要な団体数	↑	249団体	379団体	260団体	342団体
自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合	↑	52.9%	60.0%	51.3%	48.4%

【今後の課題及び方向性】

- 地域づくり活動の積極的支援のため地域の担い手不足の解消や自立的な事業展開に向けた対応
 - ➡各地域の課題に応じて、必要な支援をしっかりと見極め、地域の特性を生かせるよう柔軟な支援を実施

具体的な施策の取組状況

施 策 3	<p>つながり支え合うまちづくり</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における障がい者(児)や高齢者などの居場所づくりの支援を進めるとともに、地域団体などの自主的な地域福祉活動や見守り体制の充実を図ります。
-------	--

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

- 障がい者(児)の地域生活を総合的に支援する体制の充実を図るため、10月にハピネス川西相談支援事業所を開設
- 高齢者の居場所づくりを促進するため、認知症カフェの設置に対する助成の実施
- 認知症サポーター養成講座の実施を支援(新規サポーター数:3,494人)
- 川西市認知症高齢者みまもり登録をしている人のうち希望者に対して靴用ステッカーを配布(配布人数:36人)
- 「川西市見守り協力事業者ネットワーク事業」について新たな事業者と協定締結(新規3事業者)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができている」と思う市民の割合	↑	34.2%	50.0%	29.7%	34.2%
認知症カフェの数	↑	1箇所	8箇所	8箇所	9箇所
認知症サポーターの人数	↑	11,389人	16,489人	14,366人	17,860人

【今後の課題及び方向性】

- 障がい者(児)の地域生活を総合的に支援する体制のさらなる充実
 - ➡地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターの設置について検討
- 潜在的な認知症患者の早期発見
 - ➡認知症カフェ等が高齢者の居場所として日常的に利用されるよう、さらなる啓発活動の展開
- 地域における見守り体制の充実
 - ➡「川西市見守り協力事業者ネットワーク事業」についての周知・協定先事業者の拡充

基本目標4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす

<基本的方向性>

本市の特徴を踏まえた新たな働き方の創出を模索するとともに、新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざします。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント

- 新たな仕事と雇用の創出や女性が働きやすい環境づくりを考える上で、起業だけにこだわることなく、フリーマーケット、趣味の延長線上でできる新たな形の仕事など、幅広い内容での支援についても検討する必要がある。
- 産業の活性化に当たっては、高齢化と人口減少が進む地域事情を踏まえた新たな事業分野やマーケットの開拓やシルバー世代の起業支援を含め、様々な施策を展開していく必要がある。

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
数値目標	市内事業所数	4,171事業所	4,200事業所	-	-
	市内就業率	47.4% (H22)	50.0% (H32)	47.4%	-
幸せ実感指標	仕事に充実感がある市民の割合	79.7% (H27)	85.0%	-	84.0%

具体的な施策の取組状況

施 策 1	<p>就労支援の充実</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <p>①若者キャリアサポートセンター川西における就職支援セミナーの活用を促進し、若年層の就労支援の充実を図ります。</p> <p>②家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

＜具体的施策の展開①＞

- 川西しごと・サポートセンター内に就労体験コーディネーター(キャリア・コンサルタント)1名を配置
- ハローワークとの連携により市内外(基本的には近隣)の求人情報の提供を受け、受入事業所を開拓(実績:43事業所)
- 市内在住の39歳以下の未就職者を対象に、受入事業所での就労体験を経て、就労に結び付ける事業の実施(体験参加人数:25人、内定者:21人)

＜具体的施策の展開②＞

- 多様な形での就労を支援するため、
 - ・市HPに在宅就業の専用ページをオープン(アクセス数:976回)
 - ・クラウドソーシング活用講演会の実施(参加者数:188名)
 - ・記事などの書き方を学ぶライティングセミナーの実施(参加者数:19名)
- 生活困窮者の就労につなげることを目的に、就労支援員がクラウドソーシング活用セミナーの講演会に出席

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
川西しごと・サポートセンターの年間就職件数	↑	1,003件	1,100件	1,003件	958件

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

- 就労支援の成果拡大に向けた制度利用者の確保
 - ➡広報等による制度の周知の徹底

＜具体的施策の展開②＞

- 女性への新たな仕事への提供に向けてクラウドソーシング活用講演会の定員を超える希望者への対応
 - ➡クラウドソーシングによる働き方の提供の拡大に向けて、事業の進め方の再検討の実施

具体的な施策の取組状況

施 策 2	<p>新たな仕事と雇用の創出</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <p>①新たな仕事と雇用を創出する事業に対し、提案公募型地域経済活性化事業補助や新商品開発補助を行い、事業主を支援します。</p> <p>②新たな交通の玄関口となる新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジを活用し、新たな仕事と雇用の創出を図ります。</p> <p>③家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。</p> <p>④女性・シニア世代の起業への支援を行います。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

＜具体的施策の展開①＞

- 事業者の新たなチャレンジの後押しによる産業の活性化に向けて、
 - ・提案公募型地域経済活性化事業補助制度の実施(採択件数:1件)
 - ・新商品開発補助制度の実施(採択件数:2件)

＜具体的施策の展開②＞

- 魅力創造発信拠点の整備に向け、民間事業者へのヒアリング等を実施し、事業の参入の可能性を調査

＜具体的施策の展開③＞

- 多様な形での就労を支援するため、
 - ・市HPに在宅就業の専用ページをオープン(アクセス数:976回)
 - ・クラウドソーシング活用講演会の実施(参加者数:188名)
 - ・記事などの書き方を学ぶライティングセミナーの実施(参加者数:19名)

- 生活困窮者の就労につなげることを目的に、就労支援員がクラウドソーシング活用セミナーの講演会に出席

＜具体的施策の展開④＞

- 女性の起業しやすい、働きやすい環境を創出するため、川西女性起業塾を実施
 - ・プレセミナー(1回)
 - ・川西女性起業塾(年8回(3時間/1回)、23名参加)
 - ・Facebookグループの構築
 - ・創業関連情報の発信

- 創業支援の推進を図るため、「ソーシャルビジネス支援ネットワークかわにし」の設立(構成:川西市、川西市商工会、NPO法人市民事務局かわにし、日本政策金融公庫 連絡会:1回開催)

- 情報収集のため、近畿経済産業局主催の「LED関西 女性起業家応援プロジェクト」へ参画し、起業を目指す人への情報提供を実施

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
有効求人倍率 (ア) ※伊丹ハローワーク管内 (伊丹市・猪名川町・川西市)	↑	0.65倍	0.70倍	0.59倍	0.73倍

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

○制度活用の拡大

➡ 広報等による制度の周知の徹底

＜具体的施策の展開②＞

○まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整

➡ 所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討

＜具体的施策の展開③＞

○女性への新たな仕事への提供に向けてクラウドソーシング活用講演会の定員を超える希望者への対応

➡ クラウドソーシングによる働き方の提供の拡大に向けて、事業の進め方の再検討の実施

＜具体的施策の展開④＞

○起業支援に係る多様なニーズへのきめ細やかな対応

➡ 川西女性起業塾について、成長志向の方向けに「自分に必要な知識を習得するセミナー」を複数用意するなど、受講者の各段階に応じた総合的な支援の展開

具体的な施策の取組状況

施 策 3	<p>産業の活性化</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <p>①商工会との連携を強化し、産業構造の特性を踏まえた新たな展開など産業の活性化に向けた取組みを進めます。</p> <p>②都市農業という本市の特徴を活かし、地産地消による販路の拡大などの取組みを進めます。</p>
-------	---

【平成28年度の主な取組内容及び成果】

＜具体的施策の展開①＞

○市が産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受け、市や商工会等を通じて創業支援の提供を実施(実績:相談10回、セミナー参加29名)

＜具体的施策の展開②＞

- 地産地消による販路の拡大等を目的に、
- ・特産物の即売会や品評会の開催(ハウス果菜品評会、桃の即売会、いちじくの品評即売会、農林産物品評会)
 - ・川西産いちじくの愛称「朝採りの恵み」の商標登録
 - ・川西元気アップ朝市のリニューアルイベント「かわにしまるまるマルシェ」の立ち上げ

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値	
		(H26)	(H31)	H27	H28
小売業店舗数	→	938店舗 (H21)	940店舗	864店舗 (H26)	-

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

- 商工会等との連携の強化
- ➡商工会等を通じて実施している各施策の継続
 - ➡特産品及び各種イベント等の積極的な情報発信
 - ➡商工会等と連携した市の補助制度の活用促進

＜具体的施策の展開②＞

- 地産地消による販路の更なる拡大に向けた取組み
- ➡農林物産品評会、いちじくの品評即売会など各種イベントで川西産の野菜や果樹のPRの実施と地産地消の推奨
 - ➡マルシェ等のイベントで農業者と商業者の出会いの場の提供による販路の拡大

